



会からのお知らせ

平成14年 お花見会開催の案内

日時：4月7日(日) 11:00～15:00 雨天中止

ご家族同伴、歓迎です

なお上記時間内でしたら、何時でもご参加ください

場所：多摩湖堰堤下(狭山公園内) wの小旗を掲げてあります

なお、現地不案内の方、東村山駅から電車で行かれる方は

仮集合場所：東村山駅東口交番付近に10時30分までにお集まり下さい。

会費：1000円(同伴家族:無料)

○定例役員会

日時：4月6日(土)14:00～17:00

場所：東村山市民センター別館、第4会議室(市役所の向かい側)

一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください。

事務局便り

○新入会員紹介

新たに5名の方が入会されました。皆さんよろしくご交流の程お願いします。
お手許の名簿に追加をお願い致します。

紅 松 喬(くれまつ たかし)さん

S45商

東村山市富士見町4-14-23

TEL: 042-393-6924

紅 松 容 子(くれまつ ようこ)さん

S45教育

東村山市富士見町4-14-23

TEL: 042-393-6924

當 麻 光 子(とうま みつこ)さん

S57文

東村山市本町3-14-60

TEL: 042-398-1327

長 野 長 正(ながの ながまさ)さん

S32理工

東村山市富士見町4-17-18

TEL: 042-395-6870

細 萱 進(ほそがや すすむ)さん

S31政経

東村山市諏訪町1-37-29

TEL: 042-393-8051

○名簿訂正のお願い

高柳忠正さん 電話番号変更

042-332-6162 に変更してください。

○山崎光夫さん(S45教育)の講座(早大オープンカレッジ)ご紹介

講座名 医学でひもとく歴史ミステリー — 人物と事件がいま甦る —

期 間 4月20日～6月29日 毎週土曜日(除5/4) 13:00～14:30

場 所 早大エクステンションセンター八丁堀校 中央区八丁堀 03-5117-2073

費 用 23,000円 (他に入会金6,000円) 定員 36名先着順

申込先 3月8日(金)～除日・祭 03-3208-2248へ

同好会だより

俳句同好会（稲酔会）世話人 高杉修 391-8447
柴田元 396-8257

○「俳句で自分史を綴ってみませんか」

旅へ出ると人は誰しも記念写真を撮るものです。その一枚一枚はアルバムを見る度に当時を思い出させてくれます。でもそこに自分の一句を添えてみましょう。

例えば「春の海入込みここを油壺」高浜虚子の三浦半島での句です。「夏山を統べて槍ヶ岳眞蒼なり」水原秋櫻子の作です。自分の俳句ならば印象は更に鮮明に蘇る事間違ひありません。

これは旅行だけに限りません。皆さんには、お子さんやお孫さんが居られると思います。俳句はその成長記録にもなります。「鳥のうちの鷹に生まれし汝かな」橋本鶏二です。「木の葉髪背き育つ子なほ愛す」大野林家の作です。

女性にも、母と子だけに繋がる優しい句が沢山あります。「咳の子のなぞなぞあそびきりもなや」「咳をする母を見上げてゐる子かな」中村汀女の句集には随所にこんな句があります。成人した後に子等が読めば、どんなに感慨深いものであるでしょう。

これ以外にも父母、夫、妻、友人等も題材になります。結婚式のお祝に一句と言うのも素敵な贈物とは思われませんか。四季の自然も勿論対象です。これ等の積み重ねは、振り返ってみると、俳句で綴る自分史になってみいるのです。

また、俳句の効用として何時も頭を働かせているのでボケ防止になるそうですし作句の為、外へ出るので健康にも良いようです。

稲門会では、此度月例の投句者5名に加え、これから始める3名をお迎えして2月9日（土）に打ち合わせをし、第1回の句会を4月28日（日）に開くことにしました。俳句は奥深いのですが、入り易い文芸です。我々は五七五のリズムに馴れているからでしょう。始めての方も奥様はじめお家族も大歓迎です。あまり難しく考えられずに御参加なさいませんか。お問い合わせは上記世話人までお気軽にご連絡下さい。

記

日	時	4月28日（日）	午後2時～
場	所	丸藤2階	（久米川駅前）
句	数	兼題「陽炎」	含め5句以内
費	用	3,000円	（句会後懇親会費）

金色のひげをゆたかに福達磨 悴んで濡れせんべいの封を切る 背もたれに背ながらうづめてあたたかし	菊田哲
梅咲きし狭庭に小鳥遊び来る 梅林に一ト日を校友と遊びける 父恋ひし散歩の道に梅咲きて	柴田元
空青き鍔物の町や牙返る 春霞の熊笹をうつ雑木山 凍滝の解け残りたるひとところ	高杉修
盗炊きの炎も春の風の向き 臥龍梅三十五年の夫婦道 羽ばたきも思い切り良し春の鴨	井垣和太
白梅も紅梅もあり梅の郷 発車時に驚ほけきよと鳴きにけり 黒土に落ちてなほ咲く椿かな	八木勝利
いさかいの始終を見しか野水仙 木花咲く峠に立ちてティタイム 掌を合わす肩に斜めの春日影	塩見之一

投句歓迎（どなたでも結構です）
三句以内 用紙自由
ニュース原稿締め切り日までに担当井垣あて

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和 太 TEL 396-3100

○第11回春期会長杯コンペ4/21(日)開催です

お待たせしました。春です。ゴルフです。会長杯コンペです。うれしいことには日曜日の開催です。仕事の都合で・・・と言う人はいないでしょう。(とも限らないかな?)。幹事役の堀田秀夫さん(S38文)と津野慶浩さん(S37商)が下記のように企画して下さいました。東村山から車で約1時間半のコースです。

さあ皆さん。続々申し込みをお待ちしています。どなたでも参加できます。奥様やご家族の方もどうぞ一緒に・・・。

記

開催日

4月21日(日)

開催場所

ブリティッシュガーデンクラブ

山梨県都留市朝日馬場1407

中央自動車道都留インターから10キロ

スタート

9:28～ インコース 5組

費用

23,000円(プレー費・食費・パーティー費)

3,000円(賞品代他)

計 26,000円

申し込み

3月20日(水)迄に世話人(井垣)へ

(参加者には別途詳細ご案内します)

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523

田口 政 澄 395-4077

本年第1回麻雀大会のご案内



本年第一回麻雀大会を下記にご案内いたします。表彰式後は懇親会でまた一杯やりながら楽しいひとときを過ごしましょう。

今回も是非最低四卓で賑やかにおこないたいと思います。

会員各位の積極的な参加をお願いいたします。

出欠を下記締切りまでに必ずご連絡願います。

また初参加の方お待ちしております、大歓迎です。

記

日時: 3月17日(日) 12時30分

申込締切: 3月8日(金)

場所: マージャンM

本町4-12 アメニティパレス B1

TEL: 397-5228

会 費: 6千円(競技代、賞品代懇親会費用すべて含)

山とハイキングの会

世話人 久保 栄二 TEL 396-4577



宝登山ろうばいハイキング実施報告

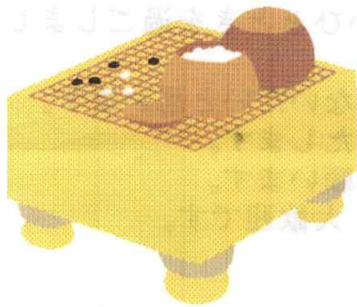
2月11日に秩父・長瀬にある宝登山^{ホドサン}にろうばいを見に行つて来ました。長瀬の駅を降り、宝登山神社で参拝して、澄んだ空気の中登ること50分、見えてきました黄色い集団が。これが蠟梅園です。甘く、強い香りが辺りに漂い、蠟細工の様な花は今満開、青空に映えて鈴なりでした。497mの山頂を踏んでから昼食、正面には薄雪をかぶった武甲山が望まれる。

帰路は少し滑りながらも山道を直降下、皆さん元気だった。ついでに千畳敷を見物し、西武秩父駅で「武甲正宗」を2杯ひっかけ、いい気分でご帰って来ました。参加者7名、この日の皆さんの即興俳句をご披露します。

ろうばいの	香りほのかに	そぞろ足	大 西
宝登山の	宝は二つ	神と梅	風 間
宝登山に	登りて香る	蠟梅花	三 宅
宝登山の	ロウバイゆかし	夫と行く	三宅夫人
梅林の	彼方に武甲	輝けり	柴 田
梅の木や	式部も同じ	かおりかな	町 田
ろうばいと	梅の向こうに	武甲かな	久 保
			以 上 久保記。

囲碁同好会

世話人 野村 保夫 TEL 394-0417
井上 徹 394-8884



2月23日、第4回囲碁大会が14名の腕自慢のもと、市民センターにて盛大に開催されました。

優勝は、決勝戦で江藤五級を破った佐野祐史五級が、四勝無敗で初優勝！

おめでとうございます！佐野五級は、並みいる有段者を押さえ、初の「級」の優勝者として永く榮譽を讃えられ

ることになりました。まさに勝負師の面目躍如というところです。

なお準優勝者（三勝一敗）は、鈴木六段、福田五段、高鷲四段、江藤五級でした。

次回は定例練習会を下記要領にて開催いたします。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

- 日時：4月13日（土） 13時～17時
- 会場：東村山市民センター

テニス同好会

世話人 当間 昭治 TEL 391-6023



1月、2月とも例会は好天に恵まれ、それぞれ自分のペースでテニスを楽しみました。

2ヶ月続いた運動公園に代わり、3月は久しぶりに久米川コートです。新人の参加も期待しています。

記

日時 3月16日(土) 午前11時～午後1時

場所 市営久米川テニスコート 5番コート

久米川町2-21

ウォーキングの会

世話人 町田 和夫 TEL 394-2438



・空堀川の終点まで行って来ました。

2月24日(日)、下記のコースを実施し、ウォーキングと緑/水を楽しんできました。久米川駅より、空堀川沿いに歩き、空堀川の終点(柳瀬川合流点)に到着。7 km、12時。清瀬せせらぎ公園(旧河川を利用、520m、整備費2億6,000万円)にてお弁当を取る。

木谷ご夫妻途中参加。柳瀬川に入ると、川幅もより広がり、護岸も垂直コンクリートではなく、自然石を利用した緩傾斜であり、フェンスも基本的にありません。釣りをする人、散歩をする人が見られました。

河川を通して、カモが多く見られました。金山緑地から3 km 下流に東村山市の下水を処理し、柳瀬川に放流している清瀬下水処理場があります。

東所沢駅(JR 武蔵野線)に14時10分到着、解散。16,800歩=12km。

さらに、土橋・大西・柴田・井垣・八木・三宅夫妻は、新秋津駅までウォーキング。4 km。

市内、周辺にもナイススポットが残されています。健康の維持、会員相互の親睦を図るため、今後も計画していきますので、お気軽にご参加ください。

[コース] 久米川駅南口10時 → 空堀川 → 3 km 所沢街道 → 5km 志木街道 → 6 km

西武池袋線 → 7 km 柳瀬川合流点[明治薬科大学・清瀬せせらぎ公園(お弁当12時～12時40分) → 柳瀬川 → 10 km 金山緑地(清瀬市中里) → 12 km 東所沢駅(JR 武蔵野線)14時10分 解散

[参加者] 井垣、大西、木谷夫妻、久保、柴田、土橋、額田、町田夫妻、松永、三宅夫妻、八木(勝) 14名

オペラ鑑賞会の紹介(清瀬稲門会主催)

日時: 3月10日(日曜) Pm1:30~4:00

曲目: ドニゼッティ『ランメルモールのルチア』

場所: アミューホール(清瀬駅北口広場、生涯学習センター7F)

参加費: 無料

園芸の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



平成14年第1回の園芸の会を2月17日午後、東村山スポーツセンタースポーツクラブ室で催しました。今回は過去最高数の参加で盛況裡に楽しく有意義に過ごすことが出来ました。

例の如く藤澤博恭氏が丹精に育てられたサギ草やさくら草の種芽を沢山ご持参頂きそれぞれ植え付けについて懇切にご説明願ひ、一同に分けて頂きました。その他大西幸夫氏がパンジー、高柳武司氏がイカリ草の苗、木谷肇氏（随分恢復され）夫妻、高杉修氏夫人、當間昭治氏夫妻がさくら草の芽を持参され交換し

て頂きました。なお初参加の當摩照夫・彰子夫妻からお茶菓子をご頂戴致しました。

上記以外の出席者は、塩見之一、柴田元、長井治夫妻、町田和夫、八木勝利、山下邦康夫妻、三宅良太夫妻の各氏計20名。

次回は恒例のさくら草の鑑賞会を都立神代植物園で行います。

日時：4月27日（土）午前10時

集合場所：JR三鷹駅南口バス停（小雨決行）

多数ご参加下さい。

郷土史の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298

下宅部遺跡見学会のお知らせ



下宅部遺跡から発掘された朱漆の弓
（市のHPから）



下宅部遺跡は元々都営住宅の建て替え工事に伴って発見された、我が国でも有数な低湿性祭祀遺跡です。前にご報告したように、発掘現場では一部が埋没保存されることとなり、公園化の為の事業が進められておりますが、同時に、3月から住宅の建て替え工事も始められます。一方、現場では新たな考古学的な発掘の成果も報告されており、4月には現場での説明会も予定されております。

今回、ふるさと歴史館の館長にお願いして、発掘調査団の方より下宅部遺跡の最新の成果を、説明して頂けることと成りました。当日は、現在の発掘現場での見学は出来ませんが、下宅部遺跡の現場で遺跡全体の説明と、調査団の整理作業を見学出来ることとなりました。またとない機会ですので是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

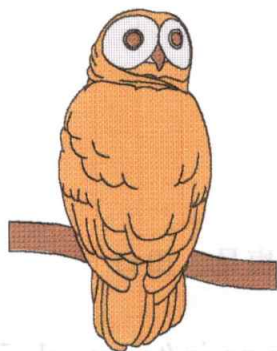
日時：3月23日（土）14:00～16:00

場所：下宅部発掘調査団事務所前（下宅部遺跡の南側、川を渡ってすぐ。ペレハブ）

多摩湖ふくろう通信 No 1

2002. 2. 3

戸田 志郎



まず初めにこれをはじめたきっかけは、神戸大学教授三田博雄の「ふくろう通信」による。「ふくろう通信」は著者が神戸大学を定年で退職し、信濃追分に山荘を建てて住むようになってから知人に送った個人通信である。小生がこれにこだわったのは、「ふくろう」というネーミングが気に入ったからである。ふくろうはミネルヴァ（叡智のアテネ女神）の鳥とかヘーゲル『法の哲学』の「序」の結びの言葉にも取り上げられた。「ミネルヴァの鳥は迫り来る黄昏とともに漸く飛びはじめる。」そしてその言葉の前に「哲学がその灰色を灰色に描くとき、生の姿はすでに老いている。そして灰色を灰色に描くことをもってしては、生の姿は若返らせるのではなく、ただ認識されるのみである。」と言っている。

まだ、引退するのは早い、寺島実郎の発言「世紀末から新世紀へ。何事もなかったのごとく、われわれは世紀の壁を越えた。自分が生きる同時代を的確に認識することは難しい。しかし、時代潮流の深層には確実に何か大きな変化が進行している。・・・」（『時代の深層底流を読む』東洋経済新報社2002年）に刺激を受け、時代に対する感受性を高く保ちたいとの思いをこめて、きままに通信と言う形で書きつづることにした。

さて、今年の年賀状は高浜虚子の「去年今年貫く棒の如きもの」を取り上げた。我青春時代に最も影響を受けた高島善哉先生の「時代に挑む社会科学—なぜ市民制社会か」（著作集第9巻）のなかで用いられている虚子の名句である。

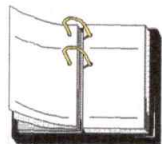
先行き不透明な現代において、先生の「貫く棒の如きもの」を歴史の中に求めていく精神に学び、事象の変転に右顧左眄しない思想の探求を表明した。

経済社会が「無機的で体温の温もりのないシステム」ではなく、生身の人間によって成立していること。例えば、「失業率0.1ポイント増」という数字を聞いて、その背後にある6万人の生身の人間の苦しみを想像力の中に置くことができるかということである。

寺島実郎は「そのためには生身の体験を通じた感性を取り戻すことであり、自分の頭で考え抜く『脳力』を高めることである。」と言っている。

お別れに「ふくろう」にもどる。ふくろうは不思議なイメージを持った鳥である。守護神アテネの従者としてみなされ、守護神にあやかって知性と学芸とを象徴する鳥であったり、凶事や暗黒の世界の象徴としても、文化史の中に姿を現す。時代とともにイメージの性格が変容していることもある。このように興味深い鳥「ふくろう」とともに思索の旅に出発することにする。

今月の予定



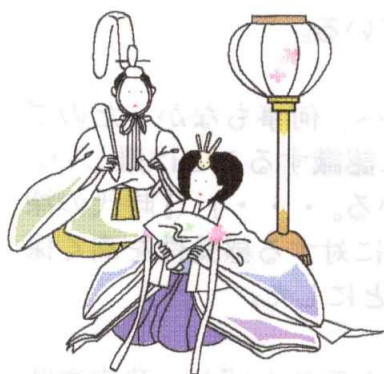
16日(土) テニス同好会
 17日(日) 麻雀同好会
 23日(土) 囲碁同好会
 郷土史の会

編集局だより

編集局：井垣、伊藤、塩見、田口

東村山稲門会：<http://www.din.or.jp/~tigers/>

東村山稲門会ニュース：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>



○先月この場で緊急のアピールとして中学生の問題を提起させていただいたところ、会員の方々より幾つかの励ましや、ご協力を頂いた。市川暢男さんには、お忙しい中色々教えて頂き、犠牲者の追悼集会への対応に万全を期すことが出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。また、当摩彰子さんからは、教育問題への長い係わりの中からの懇切なご指導を頂きました。現在、多摩2001MLを通じて私の許へ寄せられた貴重なご意見やらお叱りやらを整理して居りますので、近々ご報告申し上げます。

○今月号は、何やら皆さんから寄せられる原稿も多く、小野さんの詳細なご報告は、分載より一括の方が宜しかろうと来月へ回させて頂きました。

○次号の原稿の締切は3月30日(土)とさせて頂きます。(伊藤)

○転出やら退会やらで減少した会員数が13名の新入会員を迎えて、再び215名の会員数となりました。雑学講座や役員会に是非顔を見せてください。一度参加したら毎回来たくなりますから。気の置けない仲間がワイワイガヤガヤやっています。

○何人もの方から「年会費って幾らなの？」とお電話をいただきました。年会費3,500円と125周年寄付1,500円の計5,000円です。未納の方(封筒宛名の下に赤いラインの引いてある方2/25現在)はお早く振り込んでください。(記事満載でこの欄になってしまいました。行き違いはご容赦下さい。)

○俳句の同好会が発足しました。世話人の高杉さん、柴田さんご苦労様です。次は何の同好会が出来るのかな。どうぞ当ニュースを通じて呼びかけを……。 (井垣)

会員情報をお寄せ下さい

皆様の身近な情報をお寄せ下さい。還暦・喜寿・傘寿・米寿・白寿・受験合格から神頼みの一言まで(そう言えば神主さんも居ます)写真もOK。

E-mail：toumonkai@jcom.home.ne.jp まで添付ファイルはMS-WORD、一太郎のみ。

勿論テキストファイルはすべてOKです。

FAX：042-398-1352

郵送：東村山市富士見町1-12-2 ヴィラージュ・ヴェール1-209 伊藤宛